

田中復興大臣記者会見録

(令和2年2月14日(金) 14:25～14:29)

於) 仙台サンプラザ2階花の宴入口前)

1. 発言要旨

こんにちは。本日、ここ仙台サンプラザで「新しい東北」交流会に出席させていただいたところでございます。

本日の交流会では、「東北の未来を考えよう」をテーマに、さまざまな立場から復興・創生に取り組んでおられる方々に、発表や議論などを行っていただきました。また、いただいております。

また、新しい東北の取り組みに貢献いただいた方の顕彰や、ビジネス分野での素晴らしい取り組みに対する顕彰も行ったところがあります。

今後の被災地の復興のためには、被災地において地域課題に取り組む方が、こうした企業、NPOなどの方々の取り組みやノウハウを活用しつつ、持続可能な活動を行うことができる環境整備が重要であると感じておるところでございます。

復興庁といたしましても、引き続き、このような観点からの支援をしっかりと進めてまいりたいと思います。

私自身、今、それぞれのブース全てを回らせていただきました。

食材についても、皆様工夫されて、大変おいしいもの、また、特徴のあるもの、地域にいろいろと物語があるものもありまして、本当に楽しく拝見いたしました。

我々もしっかりとこれを支援して、本当の生業(なりわい)の姿形に仕上げていきたいと思っております。

また、いろいろとケアに関係する活動も御説明いただきまして、いろんな形でのケア、人の心にしっかりと寄り添っていく、これもこれから復興庁として非常に重要なこととございまして、努力させていただくお約束をいたしました。

以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 本日は、「新しい東北」で顕彰式があったと思うのですがけれども、NPO団体であったり、社会福祉法人であったり、いろいろと被災地を支援されていると思うのですがけれども、ただ、10年を過ぎて、財政支援がなくなるとなかなか継続が難しいと。そのあたり的大臣の考え方をお聞かせください。

(答) 私たちは、この国会で10年を節目にしておりますけれども、新しい5年に向けて、あるいは10年に向けて法律案も提出して、国会で審議をいただくことになっておるわけでございます。

基本方針も政府としてまとめてお示ししてございまして、ありとあらゆる、それぞれのきめの細かい対応をいたしてまいりたいと思います。

被災者の皆様にしっかりと寄り添っていきますし、私たちもいろんな地域、いろんな人たちに思いがあると思いますので、そのニーズを受けて、きちんと対応してまいります。財政的にもきちんと対応してまいります。

ありがとうございました。

(以 上)